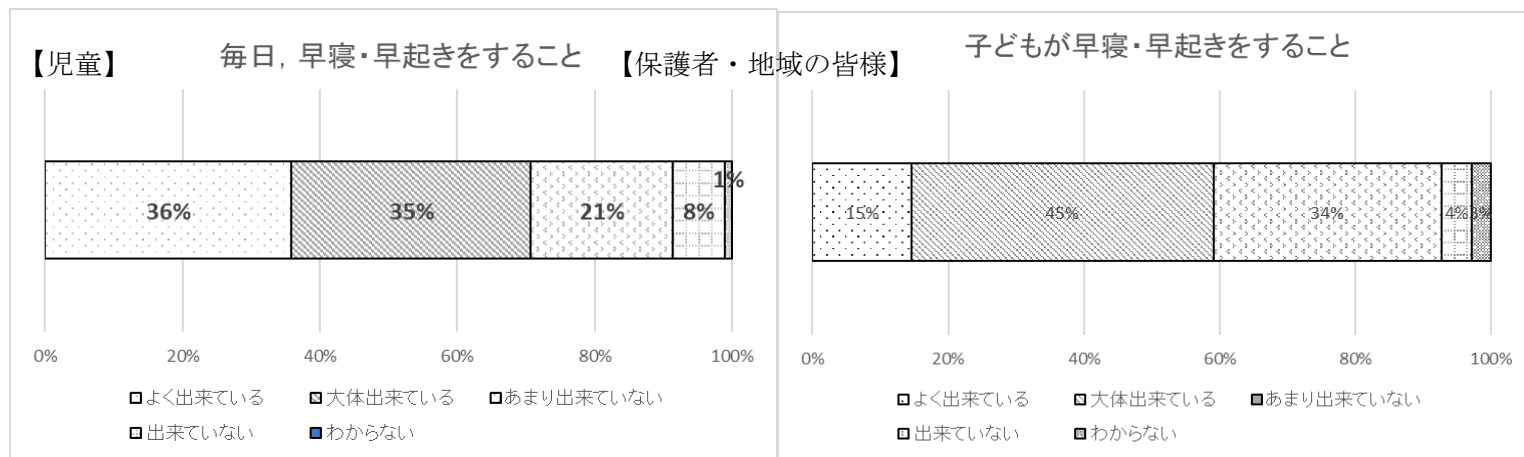


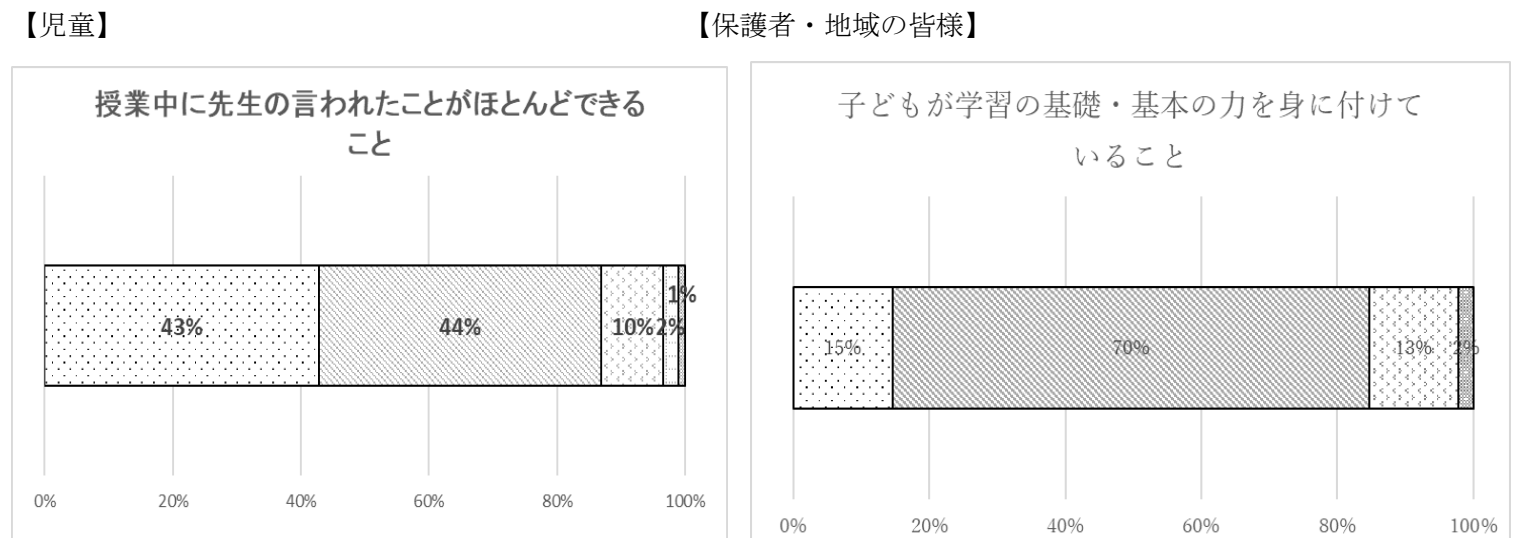
アンケートのお礼

ゆめの森の草花つぼみの膨らむ季節となりました。平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、今年度も新型コロナウイルス感染症防止の観点からさまざまな対応等にご理解・ご協力いただき、感謝しております。オンライン回答という新しいかたちで実施した学校アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。児童も個々のタブレット端末を用いて回答する形式にもずいぶん慣れてきました。1月に行った児童のアンケート集計結果及び皆様のご意見を頂いた結果を報告させていただきます。これから、どのように学校運営を進めていくのかを考える中、皆様のご意見を大切に、今後そして次年度の仁和教育に生かしていきますので、これからもご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。

さて、今回のアンケート結果は顕著に変化のあった項目について挙げ、地域や保護者の皆様と共に今後の課題等を考えていければと思います。



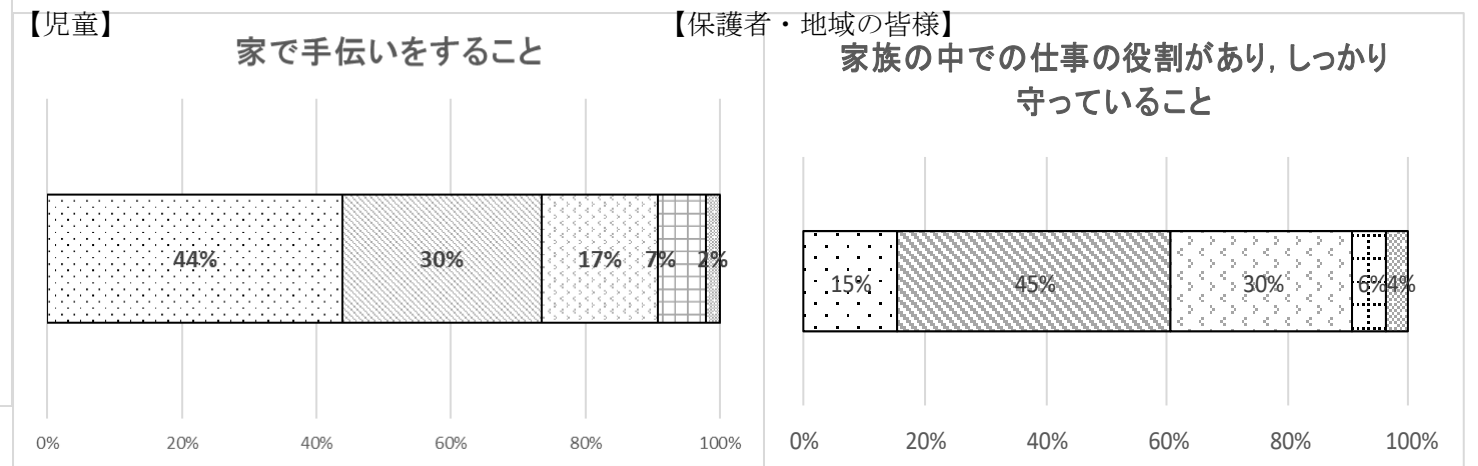
⇒前期アンケート結果では「よく出来ている」「大体出来ている」が2ポイントほどアップしていましたが、今回の結果を見ると、早寝・早起きをする事に対する意識が二極化してきているように考えています。前期と同様、「9時に寝て、6時に起きる。」など、ご家庭で日常生活を振り返ったり、具体的な目指す姿を話し合ったりしてみてください。今後も児童が自ら行動ができるように、学校でも、お家でも規則的な生活習慣の大切さを伝えつつ、児童の自主性と自立のサポートできればと考えています。お声かけ等、ご協力よろしくお願いします。



⇒前期のアンケート結果と比較すると、子ども達が授業に対して「わかる。」と感じる体験が少なくなっているように推測しています。児童に対するアンケートは1月に実施したこともあり、感染症拡大の影響で、学習の進め方の制限もあり、なかなかグループでの解決学習など「主体的・対話的で深い学び」に繋がる学習を実施できなかったことが影響しているように感じます。また、オンライン等を活用して学習を行うことも多く、子ども達の学習状況を把握することに課題が見られました。また、保護者の皆様には、オンライン学習を進めるにあたって、ご不便やお手間をおかけしたかと思います。ご協力ありがとうございました。

今後はさらに、児童一人一人に届く「主体的・対話的で深い学び」に繋がるよう、より一層実態を把握した上で、個別最適な学びと協働的な学びのある学習の構築に目指していきます。また、今回のオンライン学習やデジタルドリル等を導入で見えてきた成果と課題を基に、より効果のある GIGA 端末の活用方法も追及していきたいと考えています。保護者の皆様には、円滑なオンライン学習と充実した GIGA 端末を活用した家庭学習の実践となるよう、様々な面でご理解・ご協力頂き、ありがとうございます。

☆今回のアンケート集計で気になった項目



⇒ここ数年アンケート結果を分析する中で、家庭内での児童の役割について問うこの項目はなかなか変化することがなかったのだから、今回の結果で「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせた結果をみると25%も増えている。児童評価としては、「よく出来ている」「大体出来ている」合計パーセンテージは変化がないものの、「よく出来ている」の割合が増加していることに着目すると、児童の家庭内での役割が確立されていると考えられる。コロナ禍でうち時間が増えたことも影響しているかとは思いますが、今後とも継続的に家族の役割についてうちでも話し合っただき、児童が家族の一員としてできることを増やしていきましょう。児童自身の自己肯定感、自己有用感が向上するかと思います。

☆自由記述欄から（一部抜粋）

【今年度の教育活動について】

- ・オンライン授業について、今後実施することになった場合、実際低学年がひとりで家で参加することは難しくなると思うのですが、その場合どうするのかのプランを作成していただき、計画を事前に教えて頂いて、意見交換を学校と保護者間でしたいです。オンライン授業の練習ももっとするべきではないかと思います。
- ・タブレットを使用したオンライン授業ができる環境を整えていただけたらと思います。
- ・子供にストレスを感じさせないよう、心がけて欲しい。
- ・子供にとって学校が安心できる場所と感じ、学習や遊ぶことができるクラス環境の創出に今後も引き続き努力していただきたいと思います。
- ・新型コロナウイルスの新規感染者などの数だけにおびえすぎないでほしいと思います。これからの学校は子供たち一人一人の人間力が養える場所であってほしいです。

⇒「ZOOM への接続の仕方」「ロイロノートへの接続の仕方及び使い方」など、ホームページ等に掲載させていただいています。子どもだけでは接続等難しいことも多いと思います。お家でもサポートしていただき、ありがとうございます。

今学期、感染症による学級閉鎖の際、オンライン学習の便利さと課題を実感しました。特に、オンライン授業の課題がたくさん見えてきました。オンライン学習では子ども達一人一人の学習の様子が画面上しか見えてきません。ノートへの記述等の把握が難しく、個々のサポートがしにくい現状があります。また、子ども達のオンライン学習でのマナーをきちんと身に付けることも課題として挙げられます。子ども達はオンライン上だと勝手にミュートを外して話をしたり、授業中チャットをしたりすることも少なくありませんでした。オンライン上でも相手意識をしっかりもってほしいと考えています。情報モラル教育についても、児童の実態を把握しながら、より充実したものになるように努めていきます。

【感染症対策について】

- ・コロナ下でも、やれることは最大限工夫しながら行おうと手を尽くしてくださり感謝いたします。来年度はまた少しでも多く、子どもたちの授業風景や学校生活を見に行くことができるようになればと願っております。
- ・コロナになってしまった人への差別やいじめ等が発生しないように、より一層力をいれて欲しいです。

【感染症対策について（衛生面）】

- ・子どもから下校後に先生方が教室の消毒をしてくださっていることを聞きました。お忙しい中、対策をして下さりありがとうございます。子ども自身が自分の机や椅子を消毒して帰るのは可能でしょうか。消毒業務一つとっても先生方の負担が大きいなと感じました。
- ・コロナ禍でも参観や行事を通して子どもの成長する姿を見せていただけることはとても有り難く感じております。深く感謝申し上げます。
- ・感染力の強いオミクロン株の流行の波が来ている今、手洗いの方法や消毒のタイミング等、基本的な予防の再確認をお願いしたいです。
- ・アルコール消毒薬を参観日だけでなく、毎日教室に設置してください。
- ・アルコール消毒、入口だけではなくトイレなどにも置いて欲しい。
- ・コロナ渦での活動に慣れもあり昨年に比べてもコロナ対策が徹底されていない所、雑になっている所が見られ心配です。
- ・授業参観に伺って様子を見てみると、マスクの付けかたがきちんとなっていない子がいるので指導して欲しい。出来る限り不織布マスクを付けるようにしてほしい。

⇒長期化していて、なかなか収束が見られないコロナ禍での生活。今一度、感染症拡大防止対策について見直し、できることを精査しながら、今後の教育活動の充実を図りたいと思います。

アルコール消毒については、アルコールが薬品ということもあり、小学校ではいろいろな場所で自由に使うというわけではいきません。まずは、手洗いの徹底を図っています。その上で給食配膳前にアルコールで手指の消毒を行っています。また、マスクについてはアレルギー対応や個々の家庭のお考えもあり、マスクの指定をすることはできません。マスクの付け方については、今後とも学校と家庭の両方で声かけを続けていく必要があります。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

【その他】

- ・学校活動の中では清掃の時間も大切だと思うのですが、子ども達への指導はどうされてますか？学校へ行くたびにほこりが気になります。掃除用具も古いものがあり、使えないと子供が言っているのを替えてもらいたいです。

- ・朝の集団登校で集合時間に来てない子供が多い気がします。低学年の子は集合時間までにきっちりと来てるのに高学年の班長が遅かったりするのを見かける。

⇒ 清掃活動については、年度初め、そして日々の清掃活動で指導をするように努めています。確かに清掃道具の整備は課題です。今後は、清掃道具を長持ちさせる使い方も児童に伝えていきたいと考えています。しかしながら、年々「清掃道具の使い方がわからない。」「雑巾がしぼれない。」など清掃道具を使う経験の少ない児童が増えてきているように感じています。ご家庭のほうでも、清掃する経験を増やしていただけたらありがたいです。

朝の集団登校については、集合時刻がなかなか守れなかったり、メンバーが揃わなかったりと様々な課題があります。とはいえ、集団登校する利点もあり、近所に住む児童同士の交流をする大切な機会でもあります。今年度は、特に感染症拡大による学級閉鎖等も重なり、なかなか集団登校するメンバーが揃わないこともあり、ご心配やご不便をかけたことかと思います。

☆学校運営協議会理事・企画推進委員の皆様より（一部抜粋）

○教育活動について

- ・オンライン授業については授業時間がかなり少ない印象を受けたので、カリキュラムを増やされてもよいかと思います。
- ・オンライン学習の機会が増えました。保護者もオンライン学習について知識を付ける必要があると考えます。PTA などを通じて、保護者の知識向上をする機会があっても良いと思います。
- ・可能な限り対面での授業を行っていただきたい。
- ・いつも「本を読む習慣」についての項目があり、読書を重要視しておられることがわかりますが、電子書籍で読書するということは学校教育界ではどう捉えられているのでしょうか。そういう環境を充実させれば(Pad 読書?)子どもの読書に革命が起きるやもしれませんと思っています。
- ・コロナ禍の中、実施出来ない行事がある中で新しい取組も数多くされているように思います。色々な事の見直しをされる良い時期ではないかと思います。

○感染予防対策について

- ・できる範囲で十分対策していただいていると思います。
- ・教室内のこまめな換気及び手洗いの励行
- ・手洗い・うがいは食中毒予防や虫歯予防にも有効ですので、身を守る術の一つとして身に付けてもらいたいと思います。
- ・オミクロンとなり、様子が一変してしまいました。感染力の高まりは、防ぐことができる限界を超えていると感じています。基本的なことはこれまで通り継続していただきたいと思いますが、必要以上に子ども達の行動制限をしないようにお願いします。

○学校に対する要望・改善点

- ・もともと電話でなければならない用件以外は手紙でのやりとりなどと保護者をお願いされていると思いますが、時間帯もそうですが、電話の応対そのものを減らす方向で見直せるとよいですね。

○その他

- ・家での手伝いに関してよい変化が見られた点が興味深かったです。家庭内での役割分担が確立されているというより状況ごとに動けるようになる。親も「あなたの役割はこれ！できたら丸。」ではなく、「えっ！？やってくれるの。助かるわ。」の対応が、手伝いだけでなく、他にも可能性を拡げると思います。